



金融仲介機能のベンチマークについて

(基準日：平成30年3月31日)

平成30年7月



東濃信用金庫

金融仲介機能のベンチマークについて

「当金庫の取組み方針」

当金庫は、経営理念に「地元と共にあり、共に栄える」を掲げ、地域と共に自らも成長し発展していくために、お取引先のニーズや課題に応じた、ご融資及び提案に取り組んでいます。

人口減少や事業先減少という縮み傾向の経済が懸念されるなか「金融仲介機能のベンチマーク」を積極的に活用し、地域の成長発展に貢献します。

「金融仲介機能のベンチマークとは」

平成28年9月に、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として金融庁が策定・公表したものです。これは、『金融機関が、自身の経営理念や事業戦略等にも掲げている金融仲介機能の質を一層高めていくには、自身の取組みの進捗状況や課題等について客観的に自己評価することが重要である』との考えによるものです。

当金庫は、これに自主的に作成した「独自のベンチマーク」を加え、「東濃信用金庫の金融仲介機能のベンチマーク」としました。

ベンチマークの構成

1 共通ベンチマーク

全ての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況や課題などを客観的に評価するための指標

2 選択ベンチマーク

各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデルを踏まえ選択できる指標

3 独自のベンチマーク

各金融機関が自己評価するうえで、より相応しい独自の指標

1 共通ベンチマーク

(1) 取引先企業の経営改善や成長力の強化

当金庫をメインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標等の改善や就業者数の増加が見られた先数

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|-------------|----------|----------|
| メイン先数 | 4,076先 | 4,180先 |
| メイン先の融資残高 | 1,824億円 | 1,918億円 |
| 経営指標が改善した先数 | 1,858先 | 1,814先 |

メイン先とは・・・

融資残高が1位の先。融資残高順位は、当金庫格付システムまたは自己査定システムから抽出しております。先数はグループベース。

| | 平成28年3月期 | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|--------------------------------|----------|----------|----------|
| 経営指標が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移 | 944億円 | 990億円 | 1,028億円 |

経営指標の改善とは・・・

売上高が増加し、且つ営業利益率が上昇した取引先、または、経営指標にかかわらず就業者数が増加した取引先としております。

当金庫をメインバンクとしてお取引頂いているお客さま及びその融資残高は着実に増加しております。また当金庫をメインバンクとしてお取引頂いているお客さまの約43.3%に経営指標の改善が見られております（平成30年3月末時点）。今後ともうしんは、メインバンクとしてお取引企業さまの経営改善や成長力強化の支援に取り組み、地域経済の発展・成長に向けてのお手伝いをまいります。

(2) 取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

当金庫が貸付条件の変更を行っている先の経営改善計画の進捗状況

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|---------|----------|----------|
| 条件変更先総数 | 683先 | 557先 |
| うち好調先 | 168先 | 111先 |
| うち順調先 | 128先 | 98先 |
| うち不調先 | 387先 | 348先 |

経営改善計画の進捗状況は、計画に対する「売上高」及び「当期利益」の達成率の平均で判定しております。

- ◆好調先・・・計画に対する達成率の平均が120%超の先
- ◆順調先・・・計画に対する達成率の平均が80～120%の範囲にある先
- ◆不調先・・・計画に対する達成率の平均が80%未満の先

当金庫で貸付条件変更を実施し、かつ経営改善計画を策定しているお取引先のうち、約37.5%のお取引先の計画が順調に進捗しております（平成30年3月末時点）。また、昨年度と比較し、条件変更先は減少しておりますが、大半が完済となったお取引先及び正常化したお取引先であり、計画通り経営改善が進んでおります。金融円滑化法は平成25年3月末に期限が到来しておりますが、とうしんでは引き続き、お客さまに必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与してまいります。

当金庫が関与した創業、第二創業の件数

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|------------|----------|----------|
| 創業、第二創業の件数 | 57件 | 80件 |
| うち創業件数 | 46件 | 60件 |
| うち第二創業件数 | 11件 | 20件 |

当金庫では、とうしん地域活力研究所を中心として創業支援、第二創業支援に積極的に取り組んでおります。「とうしん創業塾」の定期開催（3月、9月）や「創業休日相談会」（毎月第2土曜日開催）を行うほか、地方公共団体や商工会議所、商工会、大学、専門家等と連携し創業のお手伝いをしております。また「創業支援制度」「創業サポートローン」「創業支援ローン”未来チャレンジ”」などを活用し、創業時の資金支援も行っております。

(2) 取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

ライフステージ別の与信先数及び融資残高（先数：単体ベース）

| | 平成29年3月期 | | 平成30年3月期 | |
|-----|----------|---------|----------|---------|
| | 与信先数 | 融資残高 | 与信先数 | 融資残高 |
| 総数 | 8,608先 | 2,983億円 | 8,725先 | 3,082億円 |
| 創業期 | 368先 | 59億円 | 445先 | 76億円 |
| 成長期 | 525先 | 254億円 | 564先 | 273億円 |
| 安定期 | 3,520先 | 1,474億円 | 3,480先 | 1,537億円 |
| 低迷期 | 303先 | 134億円 | 291先 | 84億円 |
| 再生期 | 976先 | 545億円 | 1,054先 | 663億円 |

創業期…創業、第二創業から5年以内の先
 成長期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%超の先
 安定期…売上高平均で直近2期が過去5期の80～120%の先
 低迷期…売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満の先
 再生期…条件変更先または延滞のある先
 ※総数のうち決算登録が5期連続していない先は上記の計数には含めておりません

当金庫では、地域のお取引先の皆さまの「創業期」から成長・安定に向けた支援、「低迷期」「再生期」から再成長へに向けた支援など、企業のライフステージに応じた様々なソリューションの提供に努めております。今後も、地域社会の成長・発展に貢献することができるよう、お客さまの経営支援強化に向けた態勢整備を進めてまいります。

(3) 担保・保証依存の融資姿勢からの転換

当金庫が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高と全与信先に占める割合（先数：単体ベース）

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|-------------------------|-------------------|----------|
| 事業性評価に基づく融資を行っている与信先数 | － | 314先 |
| 全与信先に占める割合 | 平成29年度 から集計の項目 | 3.6% |
| 事業性評価に基づく融資を行っている先の融資残高 | － | 210億円 |
| 全与信先に占める割合 | － | 6.8% |

事業性評価とは・・・

財務面などの定量的な情報に加え、企業訪問や経営者との対話を通じて定性的な情報・ニーズ・課題を把握し、お取引先の事業内容、持続可能性、成長可能性を評価することです。具体的には、当金庫の評価手法である「事業性評価シート（CCMシート）」を作成した先をいいます。

C・・・コミュニケーション
C・・・コンサルテーション
M・・・マッチング

当金庫制定の評価手法である「事業性評価シート（CCMシート）」に基づき、お取引先の強みや課題を明らかにすることにより、財務諸表や担保等に過度に依存することなく、課題解決・成長につながる融資に取り組んでおります。平成30年3月末時点で、事業性評価に基づく融資を行っている与信先数は314先、融資残高は210億円となっております。

2 選択ベンチマーク

(1) 地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション

メイン取引先数の推移及び全取引先数に占める割合（先数：単体ベース）

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|-------------|----------|----------|
| メイン取引先数 | 4,533先 | 4,644先 |
| 全取引先数に占める割合 | 52.7% | 53.2% |

メイン先の定義は、共通ベンチマーク（1）と同様です。（先数は単体ベース）
全取引先数は、当金庫と融資取引を頂いている法人または個人事業主です。

当金庫をメインバンクとしてお取引頂いているお客さまの先数は4,644先、全取引先に占める割合は53.2%となり（平成30年3月末時点）、前期比で増加しております。引き続き、メインバンクとしてお客さまから一番に相談していただける金融機関となるべく、信頼関係の構築、お客さまのご期待に沿える課題解決に取り組んでまいります。

(2) 事業性評価に基づく融資等、担保・保証に過度に依存しない融資

事業性評価やローカルベンチマークを提示して対話を行っている取引先数及びうち労働生産性向上のための対話を行っている取引先

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|---------------------------------|-------------------|----------|
| 事業性評価やローカルベンチマークを示して対話を行っている取引先 | 平成29年度 から集計の項目 | 333先 |
| うち労働生産性の向上に資する対話を行っている取引先 | | 53先 |

平成30年3月時点で、事業性評価やローカルベンチマークを示して対話を行っている取引先は333先、うち労働生産性の向上に資する対話を行っている先は53先となっております。労働生産性の向上に資する対話を行っている先の定義は、実際の融資実行先数を対象としており、対話が融資に結び付いているという結果となっております。

(3) 本業（企業価値の向上）支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

創業支援先数（支援内容別）

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|----------------------|----------|----------|
| 創業計画の策定支援 | 11先 | 17先 |
| 創業期の取引先数への融資（プロパー） | 43先 | 46先 |
| 創業期の取引先数への融資（信用保証付き） | 3先 | 17先 |
| 政府系金融機関や創業支援機関の紹介 | 1先 | 0先 |
| ベンチャー企業への助成金・融資・投資 | 0先 | 0先 |

平成29年度の当金庫が関与した創業件数は合計で80件となりました。当金庫では、とうしん地域活力研究所を中心として創業支援、第二創業支援に積極的に取り組んでおります。「とうしん創業塾」の定期開催（3月、9月）や「創業休日相談会」（毎月第2土曜日開催）を行うほか、地方公共団体や商工会議所、商工会、大学、専門家等と連携し創業のお手伝いをしております。また「創業支援制度」「創業サポートローン」「創業支援ローン」「未来チャレンジ」などを活用し、創業時の資金支援も行っております。

販路開拓支援を行った先数

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|----------------|----------|----------|
| 販路開拓支援を行った先数 | 117先 | 144先 |
| うち地元（岐阜県、愛知県） | 106先 | 118先 |
| うち地元外（岐阜・愛知以外） | 0先 | 0先 |
| うち海外 | 11先 | 26先 |

企業支援に対する意識を高め、マッチング案件は年々増加しております。また海外展開支援についても、年々問い合わせ案件も増加しており、現地法人設立や現地金融機関との取引支援や、スタンドバイクレジット・親子ローン等の金融支援、越境E Cの対応等多岐に亘っています。今後も、お客さまのニーズに応じた対応を、中小企業支援策や外部専門家の活用により積極的に行ってまいります。

(3) 本業（企業価値の向上）支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

事業継承支援

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|----------|----------|----------|
| 事業継承支援先数 | 14先 | 48先 |

当金庫では、地域社会の持続的発展に貢献するため、地域を支える中小企業のお取引先やその雇用を守り、次世代へ受け継いでいただけるよう、円滑な事業承継の実現を支援しております。平成29年度の事業承継支援先数は48先となりました。今後も、自社株評価や外部専門家の紹介、セミナーの開催など事業承継支援の強化に取り組んでまいります。

転廃業継承支援

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|-----------|----------|----------|
| 転廃業継承支援先数 | 0先 | 1先 |

社会環境やニーズが変化する中、地域社会が持続的に発展するためには地域内の事業の新陳代謝も必要となります。当金庫では、お客様の「新事業への挑戦」のほか、「既存事業の終了」の支援についても取り組んでまいります。事業の新陳代謝を通じ、地域の活性化や持続的成長・発展を支援してまいります。

(4) 迅速なサービスの提供等顧客ニーズに基づいたサービスの提供

運転資金に占める短期融資の割合

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|----------|-------------------|----------|
| 運転資金額① | 平成29年度 から集計の項目 | 1,530億円 |
| うち短期融資額② | | 574億円 |
| 割合 (②/①) | | 37.5% |

当金庫では、お客さまの要望を踏まえ短期資金の提供に重点を置いて迅速なサービスの提供に努めております。その結果、運転資金額に占める短期融資額は574億円、割合は37.5%となりました（平成30年3月末時点）。今後も引き続き迅速なサービスの提供に努めてまいります。

(5) 他の金融機関および中小企業支援施策との連携

取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|-------------------------------|----------|----------|
| 取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先 | 23先 | 19先 |

平成29年度は、「ものづくり補助金」の公募が期末を跨ぐ期間となったことから、支援の完結も年度を跨ぐ形となったため、支援件数は平成28年度より若干減少しましたが、今後も様々なジャンルにおいて、各種支援策の利用をお客さまに広く情報発信し、積極的な活用を促していく方針です。

3 独自のベンチマーク

(1) 美濃焼ブランドづくりの支援件数

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|------|----------|----------|
| 支援件数 | 1件 | 15件 |

(2) 多治見駅前・ながせ商店街活性化支援件数

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|------|----------|----------|
| 支援件数 | 1件 | 1件 |

『美濃焼ブランドづくりの支援』

お取引先の海外展開支援6先及びとうしん美濃陶芸美術館での展示会4回と陶芸講座5回を開催しました。今後も「美濃焼」のブランドづくりに関することを、事業所の支援から地域振興に関するイベント開催まで、幅広く支援してまいります。

『多治見駅前・ながせ商店街活性化支援件数』

平成29年6月に日本財団「わがまち基金」の助成金1,000万円を採択し、旧ワタナベ時計店ビルのリノベーションを行いました。平成30年10月に店舗オープン予定です。若手クリエイターや陶芸作家、起業家の受け入れを想定し、今後も支援活動を行ってまいります。

(3) 職域セールス契約件数

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|------|----------|----------|
| 契約件数 | 822件 | 1,760件 |

当金庫営業地区内事業所の従業員取引の拡大及び福利厚生を支援しています。福利厚生支援は取引先企業の従業員の定着率向上を企図しています。平成30年3月末の職域セールス契約件数は1,760件と前期比で増加しております。今後も、継続的に職域サポート制度を推進してまいります。

(4) 金融教育開催回数

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|------|----------|----------|
| 開催回数 | 11回 | 16回 |

(5) 経営者向けセミナー開催回数

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|------|----------|----------|
| 開催回数 | 2回 | 8回 |

『金融教育』

お金を通して生計を管理する基礎を身に付け、それを基に将来を見通しながら、自立する力の育成支援を行っています。(振り込め詐欺防止、マネープラン等)

『経営者向けセミナー』

平成29年度は「消費税軽減税率制度対応セミナー」等さまざまな分野をテーマにセミナーを8回開催しました。今後も、お取引先経営者の人材力向上を目的としたセミナーを積極的に開催していく方針です。

(6) NPO活動・団体の支援件数

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|------|----------|----------|
| 支援件数 | 5件 | 12件 |

NPOの法人設立2団体の支援及び3年目となる継続開催の「NPOのためのセミナー & 交流会」を2回開催し、地域で活動しているNPOの学ぶ場と交流の場づくりを支援しました。今後も、NPO団体に対する支援を継続的に行ってまいります。

(7) 手形貸付の件数

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|------|----------|----------|
| 貸付件数 | 4,340件 | 4,235件 |

(8) 手形貸付の融資残高

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|------|----------|----------|
| 貸付金額 | 503億円 | 507億円 |

当金庫は、資金繰りの安定を図るべく短期融資の充実に努め、お客さまの需要を真摯に受け止め適切な対応に努めております。手形貸付の貸付件数は4,235件、融資残高は507億円となっております（平成30年3月末時点）。今後も同様に中小企業の皆さまのニーズを把握し適切な対応に努めてまいります。

(9) 経営効率改善や売上増加のための設備投資に係る融資実行件数および融資実行金額

| | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
|-----------------|----------|----------|
| 融資実行件数 | 12先 | 53先 |
| うち生産性向上に資する設備投資 | 3先 | 10先 |
| 融資実行金額 | 3億円 | 8億円 |
| うち生産性向上に資する設備投資 | 1億円 | 3億円 |

IoTを含めた経営効率の改善設備や、売上増加のための設備投資資金を対象としております。また、生産性向上に資する設備投資とは、事業者さまの人手不足を補うための機械化等、生産性向上に資する設備投資としております。

平成30年3月時点で、実行件数は53件、実行金額は8億円となり、前期比で大幅に増加しております。お客さまごとに生産性向上と人手不足の動向に真摯に対話を重ねた結果が出て来ております。今後も引き続き経営効率の支援に努めてまいります。